

基本目標ごとの施策の進捗状況

KPI達成状況



90%以上

70%～89%

69%～50%

49%～30%

30%未満

項 目	KPI達成状況 ※目標値を単年度	報告内容	主な事業
【基本目標1】経済活性化と質の高い雇用創出及び交流人口・関係人口の拡大を目指す			
①釧路らしさを生み出す農林水産業の成長産業化		↓ まき網漁業の不調（イワシの水揚げに影響） → 建築資材や人件費の高騰等で住宅着工の伸び悩み	・道営草地整備事業 ・国営緊急農地再編整備事業 ・市有林収獲事業費
②釧路の「食」の高付加価値化と地場産品の販路拡大		→ 食料品製造業粗付加価値額（釧路港の水揚げ量は高水準だが、単価の低い魚種の割合が多いため、数値が伸びていない。）	・水産加工業活性化支援事業
③地域特性を生かした企業誘致		→ 堅調に推移（企業立地促進条例補助金及び課税免除実績） ※新設工場進出に係る補助金支給を行った影響	・企業立地促進条例補助事業
④中小企業・小規模事業者の「外から稼ぐ力」の強化		↑ 継続的な創業の機運の高まり（日本政策金融公庫の件数増） → k-Biz相談者数（対応可能相談枠の減）	・起業・事業承継推進事業 ・ビジネスサポートセンター事業
⑤地域に根ざした石炭産業の振興		→ 販売先に合わせた生産を維持	・産炭地振興事業
⑥釧路の自然文化を生かした世界一級の観光地域づくり		↓ 自然災害に伴う、イベント開催期間の縮小や冬季における交通機関の運行休止等の影響 ↓ 寄港時におけるバス不足等の二次交通問題を一因とした大型客船寄港予約のキャンセル	・滞在周遊促進事業 ・利用促進事業
⑦釧路の強みを生かした交流人口・関係人口の拡大		↑ 本州での猛暑やメディアの影響 ↑ 釧路市合宿誘致スーパーバイザー協議会と連携した誘致活動や夏季冷涼な気候により、特に陸上競技団体の来訪が増加	・移住定住・長期滞在促進事業 ・スポーツ合宿誘致推進事業
【基本目標2】地域を支える人材育成・人材確保を図る			
①地域を支える人材の確保		→ 積極的な潜在人材の掘り起こし ↑ 奨学金返済支援制度の市及び協力企業からの周知	・女性求職者就労促進事業 ・人材確保・定着促進事業
②釧路の強みを生かした移住・定住の促進及び関係人口の創出		↑ 本州での猛暑やメディアの影響 → 企業の求人情報の魅力向上が必要	・移住定住・長期滞在促進事業 ・U・I・Jターン推進事業
③安心な暮らしを守る人材づくり		↑ 介護人材確保関連事業の浸透	・介護人材確保事業
【基本目標3】地域が支え、安心して働ける環境をつくる			
①結婚や妊娠を支える環境づくり		→ マタニティ講座等によるサポート	・健康教育事業
②安心して子どもを産み育てられる環境づくり		→ 乳幼児健診受診率は堅調に推移 → ファミリー・サポート・センター会員数の維持 ↑ 子育て支援拠点センター利用者数の回復傾向 ↑ 「子育て世帯向け住宅」の提供の推進	・健康診査事業 ・ファミリー・サポート・センター事業 ・地域子育て支援拠点事業 ・維持管理費（住宅）
③子どもの成長を支える環境づくり		→ 未導入校6校でコミュニティ・スクール導入に向けた課題解決や運用方法等の調査研究 ↑ 不登校児童生徒への支援体制の確立に向けた教育相談体制の充実	・コミュニティ・スクール活用事業 ・確かな学力向上推進事業 ・不登校対策事業
④医療・保健サービスの充実		→ 若者検診受診者数の安定した受診状況を維持 → 地域医療情報ネットワークへの新規参加の呼びかけを維持	・生活習慣病予防推進事業 ・病院機能強化推進事業
【基本目標4】持続可能なまちをつくる			
①コンパクト・プラス・ネットワークの推進		→ 居住誘導区域内人口の割合は現状を維持 → 公共交通利用促進に係る事業の実施による利用人員の維持 ↓ 空家等の改善件数の減 ↓ 釧路市総合防災訓練を実施予定であったが、荒天で中止	・立地適正化計画推進補助金 ・公共交通活性化推進事業 ・空家等対策業務事業 ・災害対策事業
②ひがし北海道の中核都市としての拠点性の向上		→ 野菜・果物や石炭石油の需要減少により全体的に多くの項目で減少したが、穀物荷役船の荷役回数が増加 → Peach関西線の季節運航化や成田線の運休、ANA新千歳線最終便の機材縮小などの影響	・利用促進事業 ・空港拡張整備促進事業 ・病院機能強化推進事業
③効率的な行財政運営の推進		→ 市役所窓口等で取り扱う申請・届出等行政手続きのオンライン化を推進 ↑ 書かないワンストップ窓口サービスを実装	・スマート自治体推進事業 ・書かないワストップ 窓口導入事業